

## Press Release

各 位

三菱UFJ国際投信株式会社  
東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

### 「つみたてNISA」1万人認知度調査の結果について

三菱UFJ国際投信株式会社(取締役社長 <sup>まつだ</sup> <sup>とむる</sup> 松田 通)は、1万人を対象に、2018年からはじまる「つみたてNISA」に関する認知度調査を実施し、今後も定期的に調査を実施することをお知らせいたします。

#### <調査概要>

- ・調査対象 : 20歳~69歳までの男女10,000人  
(除外業種: 金融業、調査業・広告代理業)
- ・地域 : 全国8エリア(エリアごとに日本の人口構成比で割付)
- ・調査時期 : 2017年9月20日~9月23日、以後毎月20日頃に調査を実施
- ・調査方法 : インターネットリサーチ

#### <主な調査結果>

##### 「つみたてNISA」認知度について

- ① 男性と女性では、男性の認知度の方が高く9.4%の開きがある。
- ② 年齢別では、60歳代の認知度が22.7%と高いほかは、その他の年齢別で大きな差は見られなかった。
- ③ 地域別では、北海道、中部地方が低く、都市部が高い傾向が見られた。

(以下、『「つみたてNISA」を知らない』と回答した中から抽出した104名の回答)

- ・2人に1人が「資産運用をしたほうがいいと思う」と資産形成の必要性があるとしているが、具体的にどうすればよいかわからない人が多い。
- ・「つみたてNISA」独自のメリットについて理解が得られにくい。
- ・「つみたてNISA」を知らない人に特徴を認知してもらおうと、25%が「つみたてNISA」を利用してみたいという結果になった。
- ・今後、「つみたてNISA」の制度を利用して資産形成をすると仮定した場合の利用希望金融機関は、普段利用しているメインバンクが約4割を占める。
- ・「損をしそうで怖い」、「余裕資金がない」などの誤解が障害となっている場合が多かった。

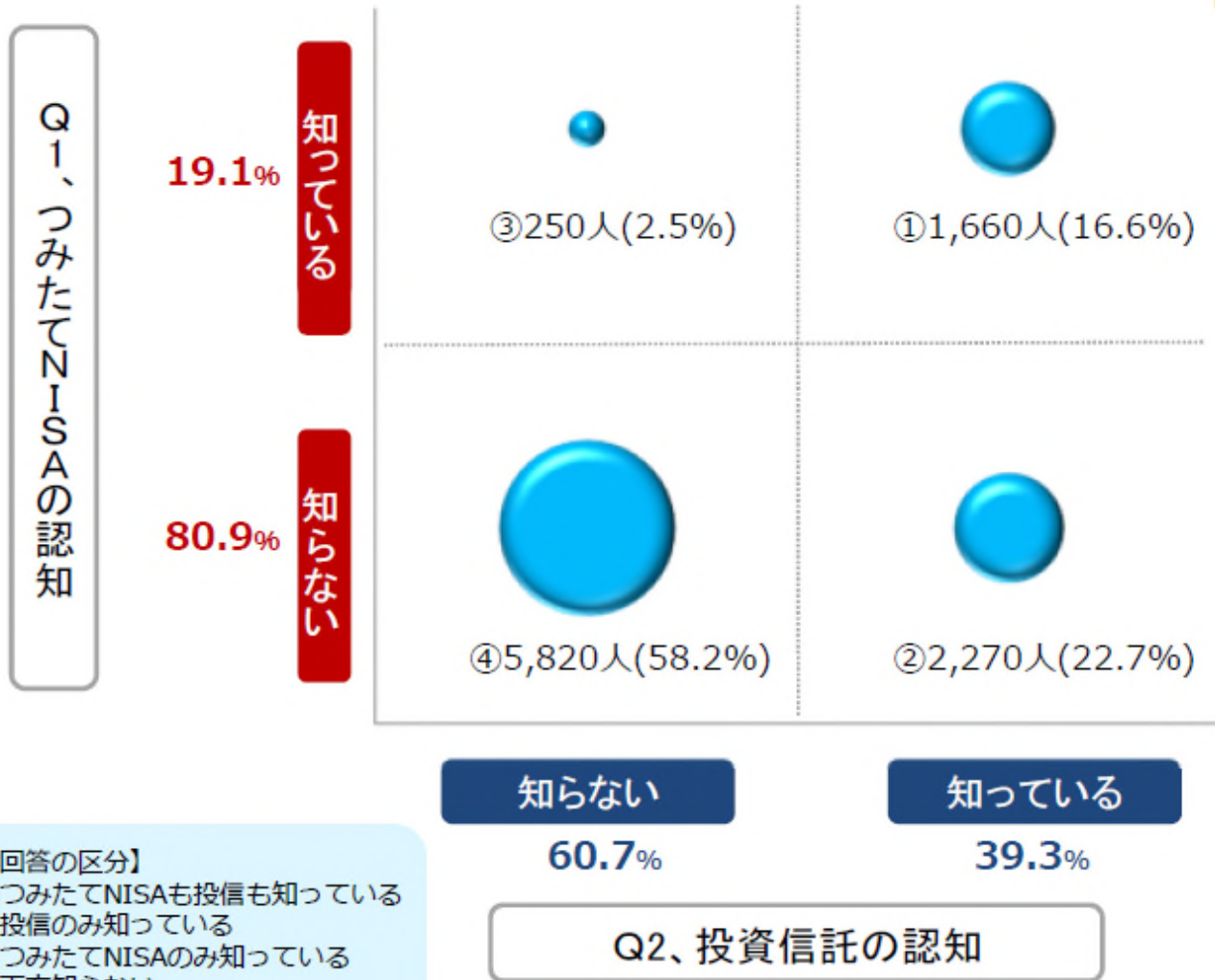
※意識調査の結果詳細については次項をご覧ください。

## ■調査結果

Q1、2018年1月スタート(買付開始)の「つみたてNISA」がどのような制度  
かご存知ですか？

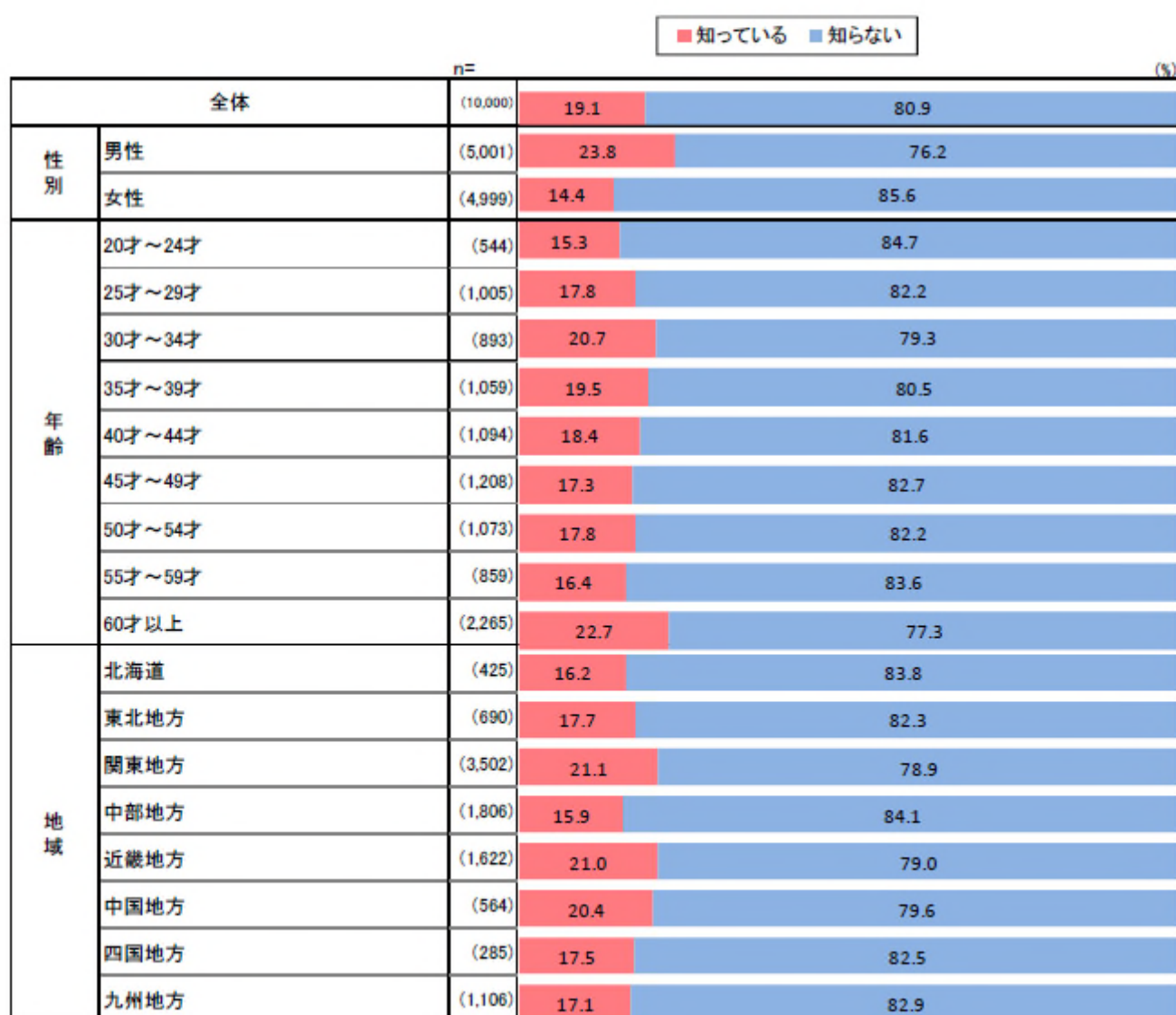
Q2、投資信託がどのようなものかご存知ですか？

n=10,000



## 性年代別・地域別の つみたてNISA認知度

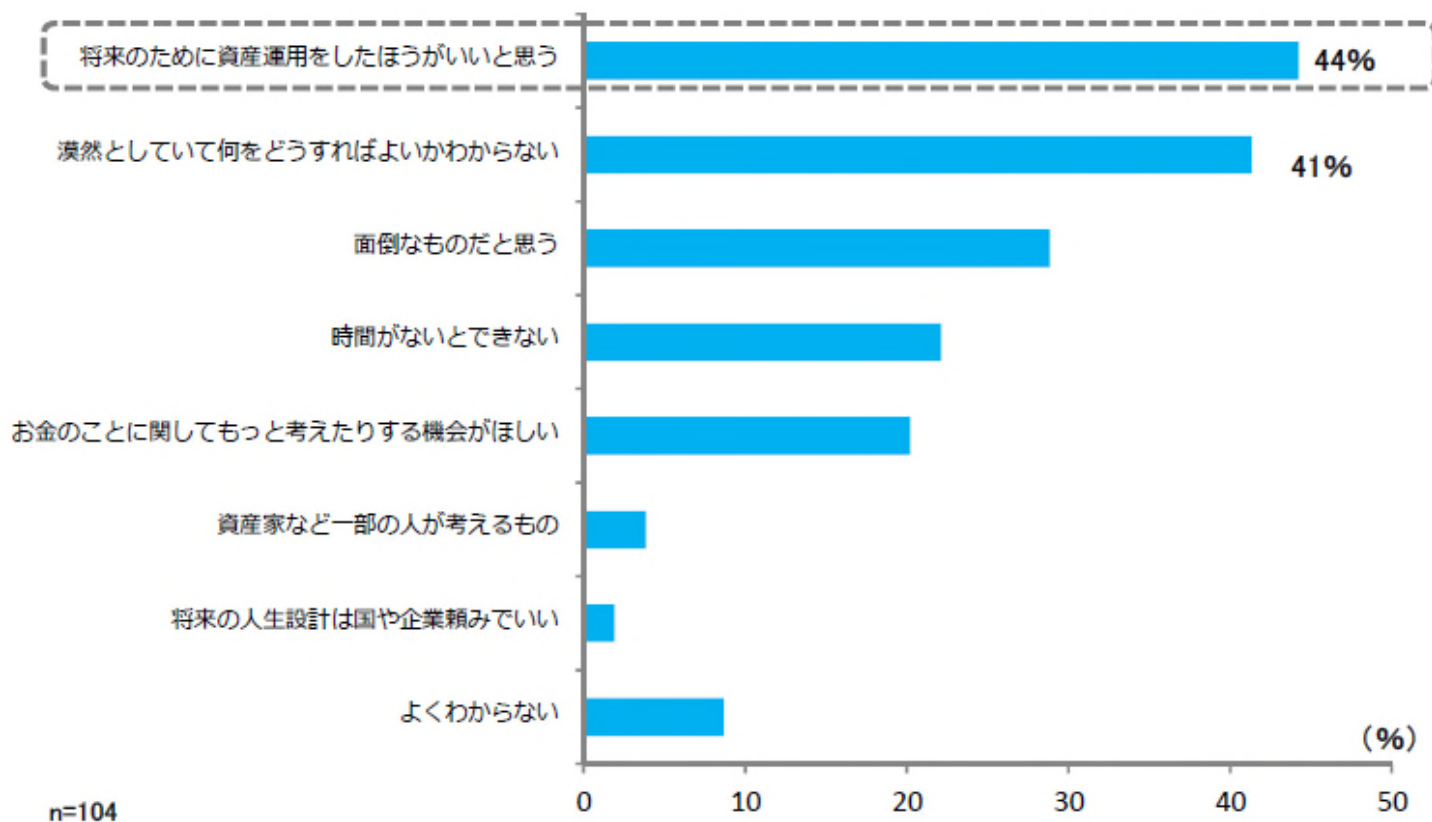
- 性別で見ると、男性と女性では男性の認知度が高く9.4%の開きがある
- 年齢別では、60歳代の認知度が22.7%と高いほかは、その他の年齢別で大きな差は見られなかった
- 地域別では、北海道、中部地方が低く、都市部が高い傾向が見られた



※Q3以降の質問は、前頁の質問で

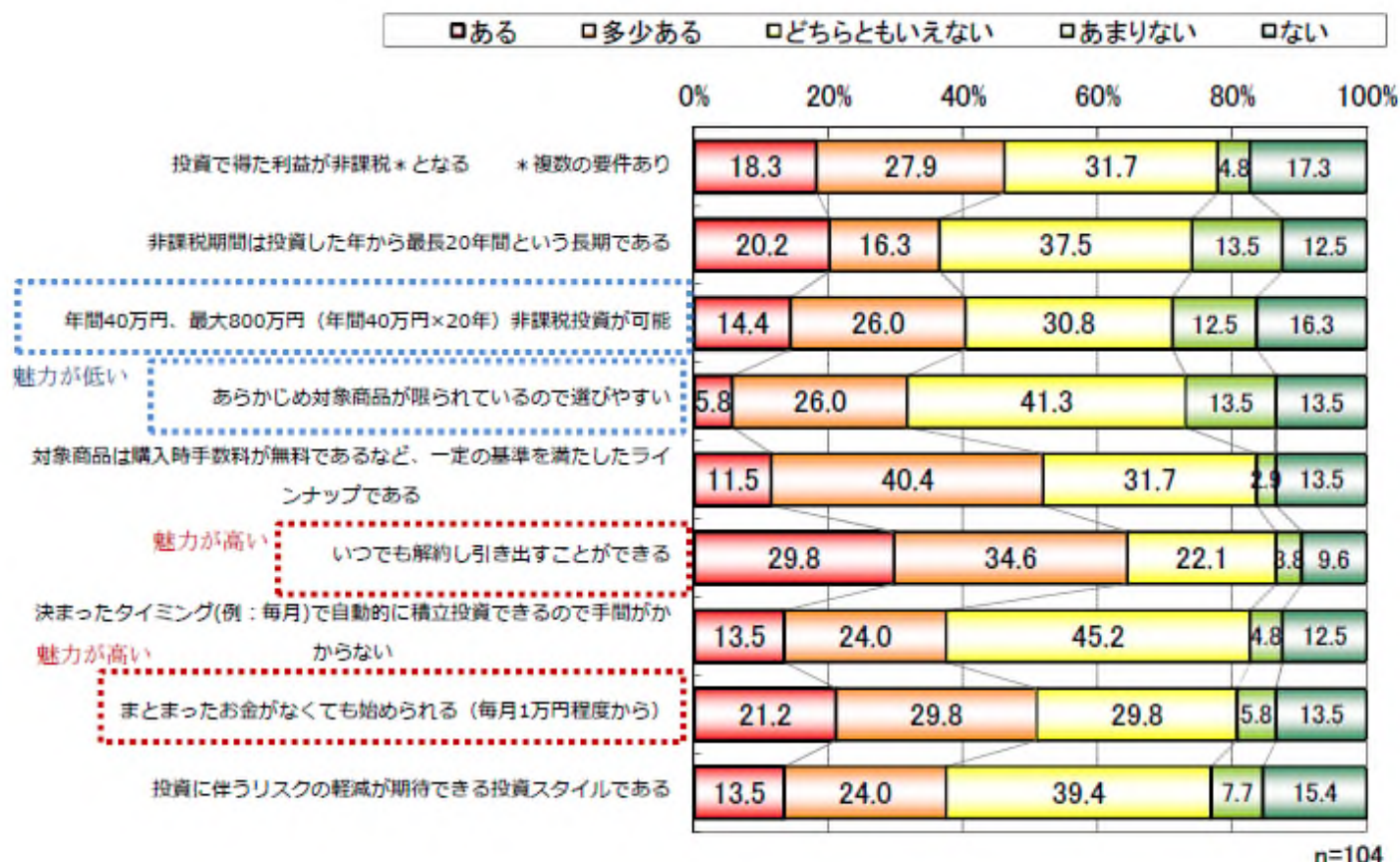
つみたてNISAを「知らない」と回答した中から抽出した104名(20~59歳)が回答。

Q3、あなたの将来のマネープランに対する考え方・イメージに当てはまるものを教えてください。(複数回答)

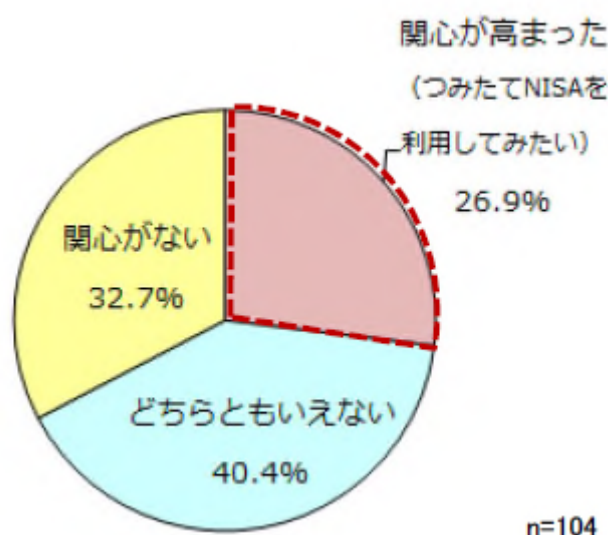




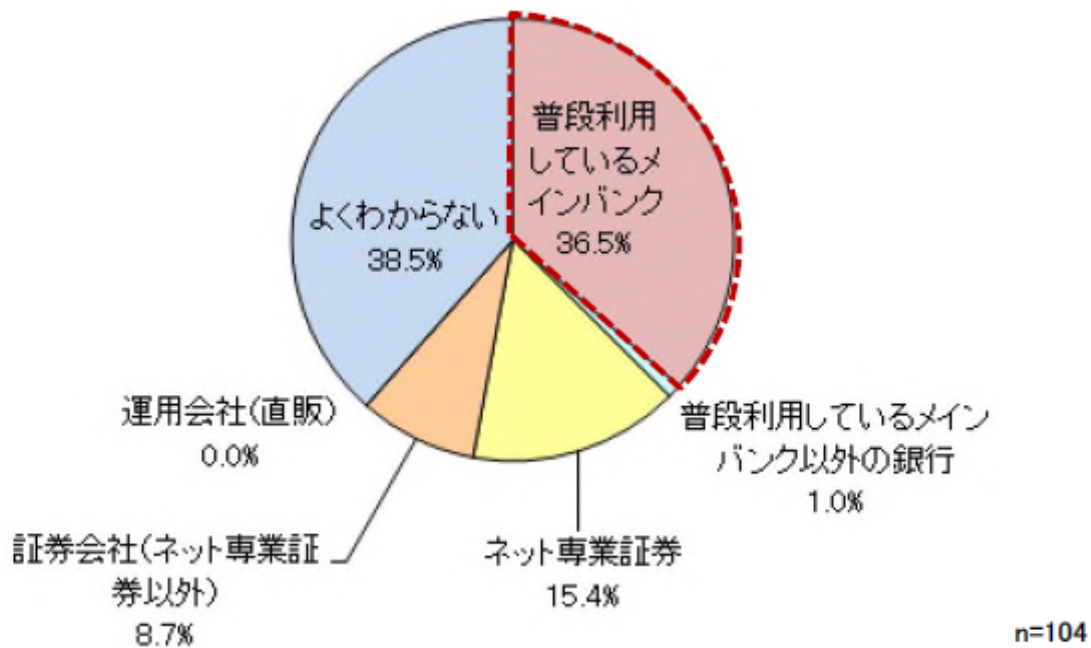
Q4、「つみたてNISA」や「積立投資」には以下のような特徴があります。  
それぞれの特徴に対してのあなたが思う魅力度を教えてください。



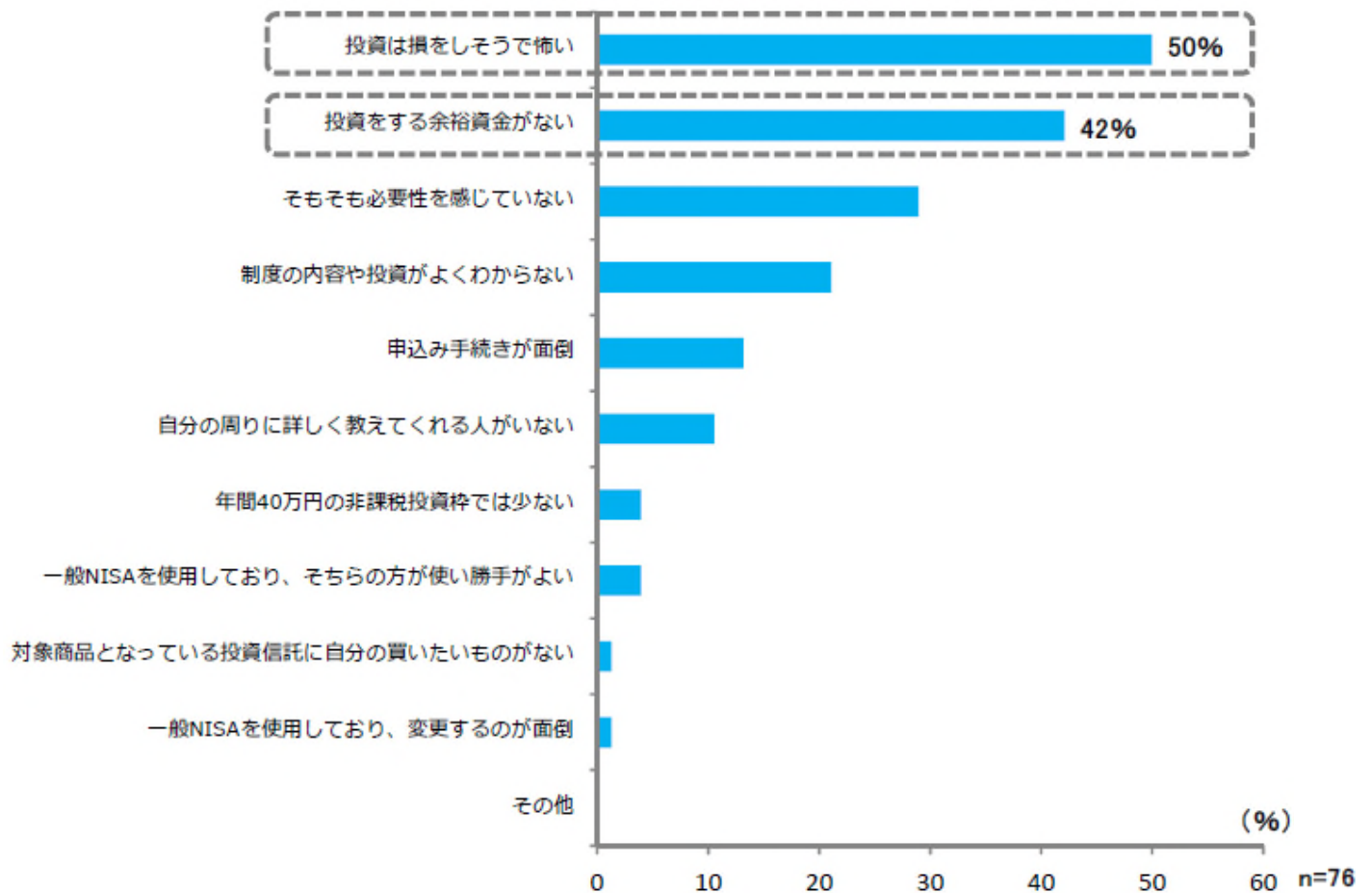
Q5、上記にあるような「つみたてNISA」や「積立投資」の特徴を認知した上で、「つみたてNISA」への関心は高まりましたか？



Q6、今後、「つみたてNISA」の制度を利用して資産形成をすると仮定した場合、どこを利用したいですか？最もあてはまるものをお選びください。



Q7、Q5で「関心が高まった(つみたてNISAを利用してみたい)」とお答えにならなかった方にお伺いします。その理由となり得るものを以下の中からお選びください。(複数回答)



## 【投資信託のリスクとお客さまにご負担いただく費用について】

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式、公社債およびリート等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

### 投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

■購入時（ファンドによっては換金時）に直接ご負担いただく費用

・つみたてNISAでご購入の場合は、購入時手数料はかかりません。

■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額…ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（信託報酬）…上限 年0.648%（税込）

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他の費用・手数料…上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、つみたてNISA対象として届け出ている投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、2017年10月4日における三菱UFJ国際投信が運用するつみたてNISA対象として届け出ている公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

### 【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

■当資料は、プレスリリースとして三菱UFJ国際投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

＜本リリースに関するお問い合わせ先＞

三菱UFJ国際投信 経営企画部

電話 (03)5221-5163